

ヒューマン博士と 考えよう

DVD本体価格

60,000円+税

(学校価格30,000円+税)

上映時間 28分

～差別から人権の確立へ～



夢と希望に満ちた
未来のために...



企画・制作

(財)福岡県人権啓発情報センター
常設展示室展示内容検討会議

制作協力

井之上企画

人権啓発映像教材

鎌倉時代

室町時代
(南北朝・戦国時代)

中世



ヒューマン博士と 考えよう

人権啓発映像教材
(上映時間 28分)

～差別から人権の確立へ～

本ビデオの制作意図について



小中学校の教科書に同和問題が記述されてから、30有余年が経過しました。この間、教育現場では同和教育が、そして地域社会では啓発が進められ、同和問題の解決に向けて大きな成果を上げてきました。しかし、今なお部落差別につながる差別意識が根強く残っているという現実があります。

本作品は、日本の伝統的な芸能や文化が、差別された人びとの生産や労働に支えられてきたことなど、差別された人びとの歴史と暮らしに焦点を当てながら、私たちの歴史の中でつくられた偏見や差別の解消につなげていただくことを目的に制作しました。

本ビデオの内容について



本作品では、差別の歴史と人びとの暮らしについて、時代を追って明らかにしていきます。

古来、農業中心の社会にあっては、農業をしない人びとは賤しいとされていました。加えて、中世には、日常的でないことに対する極端な恐れがありました。人や動物の死、女性の出産や生理などがケガレとして避けられていたのです。特に、死に対するケガレ意識は強く、人や動物の死に関わる仕事に携わる人びとを『ケガレ』た存在として遠ざけてきました。

差別されてきた人びとの一部は、このケガレに関わる仕事に従事していました。例えば、牛馬の皮をなめす『皮革業』です。動物の死に関わることで差別を受けてきましたが、彼らの高い技術が生み出す『なめし革』によって、『太鼓』や『鎧』『鞍』などが作られていきました。この技術は今も貴重なものとして伝えられています。

その他にも、能や狂言、歌舞伎につながる芸能、京都竜安寺の石庭に代表される庭づくりも差別された人びとの仕事でした。

時代は中世から近世に移り、徳川幕府が成立します。幕府は『武士』『百姓』『町人』という身分制度を厳しくすることで武士が支配する社会を維持しようとした。

また、百姓や町人とは別に、厳しく差別されてきた人びともいました。中世におけるケガレ意識などを背景に、差別されていた人びとの一部が、近世の身分制度の中に組み込まれたものと考えられています。

19世紀後半、徳川幕府が倒され、明治の時代となります。近代国家を目指した新政府は解放令を発し、『えた』や『非人』などの身分は廃止されました。しかし、人びとの差別意識はなかなか払拭されませんでした。

このような状況の中、差別された人びとは、人間の尊厳と平等を求めて運動を展開していくのです。差別をなくす運動は現在も全国各地で展開されています。

本ビデオの活用にあたって



本作品は、差別の歴史をひもときながら、差別された人びとの生産と労働、芸能や文化への関わりを、ヒューマン博士がわかりやすく解説しています。学校では、人権学習の『導入』や『まとめ』の教材に、また、地域や職場においては、今日の部落史観に基づく啓発教材として幅広く活用していただき、同和問題への理解をより一層深めていただければ幸いです。

対象：●小学校高学年 ●中学生 ●高校生 ●一般研修 など

●お問い合わせ・お買い上げは

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101



京都竜安寺 石庭



全国水平社 青年同盟演説会